

2016 年度 学校関係者評価委員会
議事録

学校法人 滋慶学園
福岡ベルエポック美容専門学校

学校法人 滋慶学園 福岡ベルエポック美容専門学校
2016 年度 学校関係者評価委員会 議事録

報告書作成者:

1. 開催日時: 平成 28 年 5 月 18 日(木) 13:00~15:00
2. 開催場所: 福岡ベルエポック美容専門学校
3. 参加者: 学校関係者評価委員 計 14 名

【評価委員】

湯山 英寿	業界関係者	株式会社ダリア 市場開発部 部長
清水 俊二	業界関係者	ビューティービジョン共同組合 理事
金井 良子	業界関係者	(株) リクルートマーケティングパートナーズ 経営企画部 ブライダル総研
原口 裕	業界関係者	株式会社カンケイプランニング 室長代行
田中 眞太郎	高等学校代表	福岡県立香椎高等学校 校長
大島 弘枝	近隣代表	福岡市大浜公民館 館長
平嶋 孝喜	保護者代表	保護者代表
金田 芙由	卒業生代表	HAIR MAKE ELOGE 店長

【学校側参加者】

田中 浩一	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長
小川 昭久	同 B F エリア長
塩原 誠	同 事務局長
勝原 修吾	同 教務部長
有田 まどか	同 教務部美容師科美容師科通信課程・美容師実践科学科長
藤井 美江	同 キャリアセンター センター長

4. 会議の概要

- (1) 各委員のご紹介
- (2) 学校長挨拶と委嘱状交付
- (3) 本委員会の目的について
- (4) 平成 27 年度自己点検・自己評価結果報告及び平成 28 年度重点目標の説明
- (5) 質疑応答及び審議

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

意見1

・美容従事者の人数が減少すると業界としても大きな問題である。美容師免許取得者 120 万人で、そのうち美容従事者 47 万人、理容師 20 万人。美容市場は 2 兆 3 千億。サロンに勤めても給料が低い事も離職理由の 1 つ。サロンと学生のマッチングが大事と言ってきたが、業界的に厳しい。状況を変えていくには、サロンや業界、そして学校の人間教育が必要である。また、近年のサロンオープン事情としては、男オーナー 1 人開業が目立つ。美容師の離職は業界あげて考えていかなければいけない問題となっている。

(看護師従事者 130 万人：資格所有者 240 万人 7 割が従事している)

離職理由 1 位：仕事のわりに給料が低い
 2 位：精神的にきつい・職場の人間関係が良くない
 3 位：労働時間が長い

意見2

・業界・サロンの環境整備により離職は減らせるかもしれない。奨学金を借りている学生に対して、就職斡旋の際、やはり給料や待遇などは重要視していかなければいけない現状である。

意見3

・離職の問題はサロン・業界でも大きな問題である。雇用やシステムなどをきちんと見える化させる。福岡でもそんなサロンは少ない。ビューティビジョンは各サロンが協力し、労働環境や福利厚生などの充実を図っている。業界自体が多く美容師を育成できる環境を改善していかなければいけない。受け入れ側と学生だけではなく、企業との情報共有などをしっかりと強化していく必要がある。きちんとした会社に学校として情報をしっかりと持ち、担任、職員が学生に紹介できる。そしてそのサロンで学生が活躍できる事で労働環境も整っていくと思う。これからはその部分に力をいれていく必要がある。

意見4

・ブライダル業界でも離職は課題である。美容師とブライダルの差とは何か？を考えた際に美容師と違い、将来像が描けない職業である。辞めると決めてから来校しても意志をかえられない。その前段階で来校出来る環境を作りたいという話を聞き納得した。辞めたいと相談に来た学生に、続けていく意思があるならもっと学校に相談に行きやすい環境・学校作りをしてもらい、離職しない学生を増やしてほしい。

意見5

・離職に関しては、私自身も専門学校に入学し、離職の経験もある。サービス業においては、給与水準や環境などの改善、更に向上させていく事は業界の課題。就職してからの各それぞれのキャリアとしては教育し、即戦力になったあと、企業によって違いはあるが、将来の先が見えづらい。給与が上がらないと離職に繋がる。しっかりと先を指し示してあげる必要がある。ホテルの専門学校ではお皿の持ち方やグラスの持ち方などの接客技術は教えてもらったが将来像は全く見えなかったし、教えてもらえなかった。学生時代の経験と実際に就職してからの

イメージギャップがあるのも離職の1つ。学生時代にそのギャップを埋めてあげることが重要だ。

意見6

・コミュニケーション能力は全国での課題である。高校も偏差値ではなく評価方法を変えている。また、先生が他の教科で生徒が何を学んでいるかを知り、科目・教科を超えて自分の授業を行う様にしている。知識として頭にいれることは出来るが、今の生徒はその知識を活用する事が出来ない。高校のキャリア教育にも変化が起きている。よりよく人間らしく生きていけるかを課題に取り組んでいる。

意見7

・自尊感情を高めることが、コミュニケーション能力向上に繋がる。今日の話に家庭の話が全く出ていなかったが、家庭力（家庭の力）が非常に大事だと思う。家庭との連携を学校が強化し、親力を高めることが離職にも大きく影響する。親との関係が薄くなりつつある今、学校を通じて親子の関係についても教育して欲しい。社会貢献に関しては、地域をもっと利用して欲しい。昨年の地域貢献の一環で美容サービスをしてもらったが、大変喜ばれたり、学生からのメッセージを今でも大切にされている。社会貢献を一杯して欲しい。地域行事（灯明ウォッチング）の運営にも今年度は学生と職員に深く関わってもらい運営だけではなく・企画の段階からプロジェクトを立ち上げて積極的に関わってもらいたい。

意見8

・私の職業は、昔3Kといわれる職業であったが、近年女性進出が多くなった。最近の子供達には根性がない。娘との会話の中で、1人暮らしの友人の話を知るとその友人の事がとても心配になる。職場でも自宅通勤者と1人暮らしの社会人がいるが、自宅通勤者が圧倒的に弱い。1人暮らしの社員はしっかりとしている。いまだに自宅通勤者は親が欠勤連絡をいれる状況である。家庭でも子供の教育にしっかりと力を入れていかなければいけない。学校では予習・復習が出来る環境を作って欲しい。

意見9

・これまでの意見は全て納得できるもので、何が正解かはないと思う。自分自身も美容業界で生きていく中で、自分の夢・希望とのギャップは大きかった。自分で開業した方が豊かになれるという周りからの話もあるが、卒後すぐにはそうもいかない。環境が整わなければ、気持ちも不安定、そして不満に繋がり離職に繋がり、誰も幸せになれないし、何の変化も起きない。何でも与える事はよくないが、環境だけのせいではない。

5. 次回開催(年1回で終了)・・平成 29 年 6 月を予定

6. 評価結果およびご意見に基づく改善方策

※別紙(学校関係者評価委員会 評価結果および改善報告)参照